

第2回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会 意見と対応

資料1

【意見概要】

(1) 第1回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会の意見と対応について

- ・この先、実施する必要がないもの（事業）は記載しない、必要があるもの（事業）は記載するなど、次期マスタープランに向けしっかりと検証してほしい。
- ・引き続き、この策定委員会でも意見を言っていきたい。

(2) 新宮津市総合計画の策定状況について

- ・名称だけ変えれば、どこの市でも使えるようなものにならないよう、宮津市らしい総合計画にしてほしい。

(3) 宮津市の概況、地域別の現況と地域特性、将来目標の設定について

<現状について>

- ・いろいろな指標があるが、将来の目標を立てる上で、これらの要因は分析できているのか。もう少し踏み込んだ要因分析が必要でないか。（卸売業等の半減、昼間人口比率が高い要因）
- ・今は高速道路もつながり、京阪神まで1～2時間で通勤できるようになった。また、都会の人の通勤時間は同じく1～2時間はかけており、宮津をいい地域と感じれば、宮津に人が戻ってくる可能性はあると思う。

<将来に向けて>

(地域資源について)

- ・宮津の素晴らしい景観や地域産業など残すべきものはしっかりと残す。市外に出ていった子どもたちが故郷に戻ってきて、仕事（生業）ができるようにしていくべき。少し思い切って、企業誘致を行うなどすべきと思う。

(仕事について)

- ・人口が減っていく中で、都会への流出を止めるためにも働く場が必要。
- ・宮津市は、観光というのはわかるが、アフターコロナなどを考えると、「観光」だけで進むのは危ない気がする。企業誘致などを行い、働く場も多く、選択肢があるまちにしないといけないのではないかと思う。

(ポストコロナ)

- ・コロナの影響で、観光面として、団体バスや公共交通の利用者が激減した。そのため、マイカーでの観光が増加し、市街地や文珠で渋滞が発生し、地域住民へも影響している。渋滞対策として、駐車場や道路の整備につながるのかと思う。
- ・定住人口の減少が言われているが、コロナの影響により、こちらで仕事をする人も増えている。こうした人たちへの支援も必要かと思う。
- ・アフターコロナで、生活の様式が変わっていくと思うが、みんなが本当に豊かに暮らしていくことはどういうことか考えることが大事と思う。また、そういう豊かさを教えていくことが、戻ってきてくれることにつながるのではないかと思う。

【対応】

⇒ 引き続き、検証しつつ、見直しを進めます。

⇒ 卸売業 … 全体的に減少傾向。主に飲食料品卸売業（農畜産物・水産物卸売業、食料・飲料卸売業）が大きく減少。その内でも、食料・飲料卸売業の減少が大きい。また、インターネット販売の普及により、全国的に減少傾向にもあります。

小売業 … 全体的に減少傾向。主に織物・衣服・身の回り品小売業（呉服・服地・寝具小売業、婦人・子供服小売業）が大きく減少。

卸売業とは異なり、各種食料品小売業は大きく減少していない。

昼間人口… 従業・通学で分類されている内訳を近隣市町村と比較

流入、流出ともに多めの状況。近隣市町村と比較したときに流入の比率が高い傾向であった。特に通学者の数に対して、市外からの比率が高かった。

⇒ 必要に応じて、適切な保全策を検討します。検討にあたっては、産業や企業誘致への影響も配慮します。

⇒ 企業誘致部局、産業振興部局とも調整し、働く場の選択肢が広がるよう、企業誘致などの取り組みを進めます。また、土地利用の規制については、計画的な企業誘致にも配慮したものとします。

⇒ ポストコロナをしっかりと見極め、検討を行います。

⇒ 「豊かさ」を意識し、それに向け、都市計画でできることが何かを研究し、位置づけていきたいと思えます。また、都市計画だけで実現できないことについては、関係部署と連携して進めていきます。

【意見概要】

（子育てについて）

- ・自分たちの地域を大事にするためにも、地域の素晴らしさなど子供への教育が必要。そうしなければ、優秀な若者は便利な都会に出ていき、高齢者ばかりになっていくのは止まらないと思う。
- ・出生数はどんどん減る一方の中、保育園（幼稚園は含まない）の利用人口は減っていない。これは働く保護者、仕事を求める保護者が増えてきたということ。この部分を何とかしていくことが、出生数を増やすことや住みやすい街づくりにつながるのかと思う。
- ・ミップル 4 階にある子育て支援センターの利用について、利用者から好評である。使用料が無料のため、使用料を徴収してはとの意見もあるが、来場した方が、ミップルの中で食事や買い物をする等、間接的にではあるが、宮津市にお金を落としている。都市計画マスタープランの策定についても、目先の話だけではなく、長い目、広い目で考えていってほしい。

＜社会資本について＞

- ・宮津市は道路、上下水道などの社会資本はほとんどできていると思う。
- ・今後は、浸水・内水対策として河川・都市下水路などの整備を実施していかないといけないと思う。
- ・財政難ではあるものの、災害リスクの高いところを減らしてくという考えも、まちづくりとして配慮してほしい。

＜都市計画について＞

- ・都市計画道路は、予定区域内の規制により、道路が広がる可能性を誘導していく制度であり、まちづくりを進めるために残しておいてもよかったと思うが、平成 29 年度の見直しによりほとんどが廃止された。
- ・用途地域は都市計画道路網との関係性が深い。用途地域の見直しにあたり、都市計画道路網についても再度検討をしてはどうか。
- ・人口減少対策として、働ける場所を新たに設けることは必要。そのために企業誘致は大切であり、用途地域の影響も大きいため、しっかりと考えること。
- ・用途地域の議論をする際には、問題として起こっていることを具体的に示していただきたい。

【対応】

⇒ 子供たちや次世代に誇れる街づくりとしても、人口減少対策としても重要なことであり、住みやすい街づくりを意識した見直しとしていきます。

⇒ 目先の話でなく、中長期的な考え方で見直ししていきます。

⇒ 防災・減災の視点で、浸水・内水対策として、都市下水路等の整備も重要と考えていますので、厳しい財政状況の中ですが、優先順位をつけて実施していきます。

⇒ 長期未着手路線において、路線の必要性及び市の財政状況等の今後の見直しを検証の上、廃止をしたものです。今後、整備の必要が生じた場合は、道路事業等を検討していきます。

⇒ 都市計画道路網などの都市施設、企業誘致などの今後の土地利用の展望も踏まえて、見直しを行います。

⇒ お示ししていきます。